

整形外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究にかんする倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

また、対象となる患者さんで研究参加を拒否したいと思われた方も、以下の「問い合わせ先」までご連絡下さい。その際には、研究の対象とはしないように致します。

[研究課題名] 肘頭脱臼骨折の整復アライメントに関する X 線学的評価

[研究機関] 帯広厚生病院整形外科

[研究責任者] 本宮真（帯広厚生病院整形外科手外科センター長）

[研究の目的] 肘頭脱臼骨折は複雑な肘関節の損傷の 1 型で、前方脱臼と後方脱臼に分けられます。高エネルギーに伴って受傷することが多くあり、尺骨近位部の粉碎や鉤状突起・橈骨頭骨折・靭帯損傷の合併、高度の不安定性を伴う症例など様々な病態を呈し、通常の骨折とは異なり治療に難渋するとされております。

近年、固定性の向上した解剖学的プレートをはじめ、肘頭脱臼骨折の治療法が進歩し、良好な治療成績が報告されておりますが、一部でまだ成績が不良な症例も存在します。尺骨近位部の骨折を良好に整復固定することが、肘頭脱臼骨折に重要とされておりますが、術後の尺骨近位部の形状に関して詳細な X 線の評価を行っている報告はほとんど認めません。

当院で行った肘頭脱臼骨折の治療成績や問題点を調査することで、今後より良い方法を策定していきたいと考えております。

[研究の方法]

●対象となる患者さん：2012～2021 年までに当院整形外科にて、肘頭脱臼骨折に対して手術により尺骨近位部の固定を行った 21 名 21 肘。

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、病歴情報 ②外傷の詳細 ③手術の内容 ④手術後の臨床成績と X 線評価

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道帯広市西 14 条南 10 丁目 1 番地

JA 北海道厚生連 帯広厚生病院

整形外科 担当医師 本宮真

電話 0155-65-0101